

EzUtility の使い方


各パラメータの内容や操作方法の詳細などは、EzUtility のヘルプをご確認ください。

EzUtility のインストール

1. EzUtility のダウンロード

EzUtility のセットアップファイルを各製品ページからダウンロードします。セットアップファイルは ZIP で圧縮されていますので、任意の場所へ解凍してください。

2. セットアップの実行

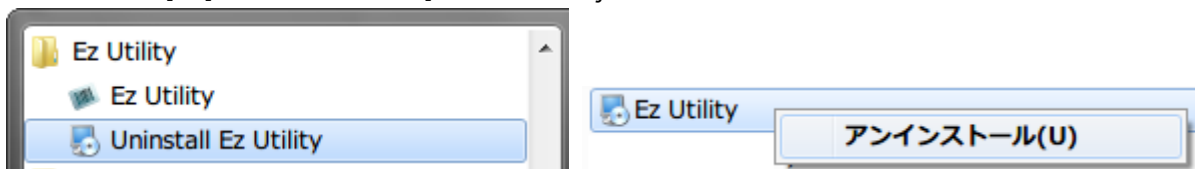
展開した  EzUtility_xxx.exe (xxx はバージョン) を右クリックして表示されるポップアップメニューから「管理者として実行」をクリックします。

セットアップメニューが表示されますので[次へ]ボタンをクリックして続行します。以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

EzUtility のアンインストール

1. アンインストーラーの実行

[スタートメニュー]－[すべてのプログラム]－[Ez Utility]－[Uninstall Ez Utility]をクリックするか、[コントロールパネル]の[プログラムと機能]から Ez Utility をアンインストールします。




アンインストールメニューが表示されますので[次へ]ボタンをクリックして続行します。以降は画面の指示に従ってアンインストールしてください。

EzUtility 使用時の注意事項

- Bluetooth 接続状態での使用はできません。
- Bluetooth 接続情報は初期化されます。
- EzUtility 使用中は絶対に USB ケーブルを取り外さないでください。設定中に通信が断絶すると動作不能状態になり復旧できなくなります。

EzUtility の実行

1. Ez Utility を実行する

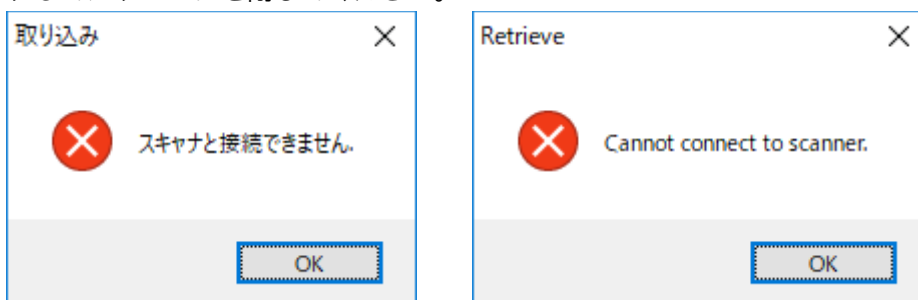
デスクトップに作成される  ショートカットアイコンか、[スタートメニュー]の[Ez Utility]を右クリックして表示されるポップアップメニューから「管理者として実行」をクリックします。

2. Communication Setting (通信設定) を行う

下図のように[1D-Bluetooth]と[USB-HID]を選択して[Save Home (保存して戻る)]をクリックしてください。





スキャナが正しく接続されていないと下図のエラーメッセージが表示されます。その場合は「OK」をクリックしてメッセージを閉じてください。

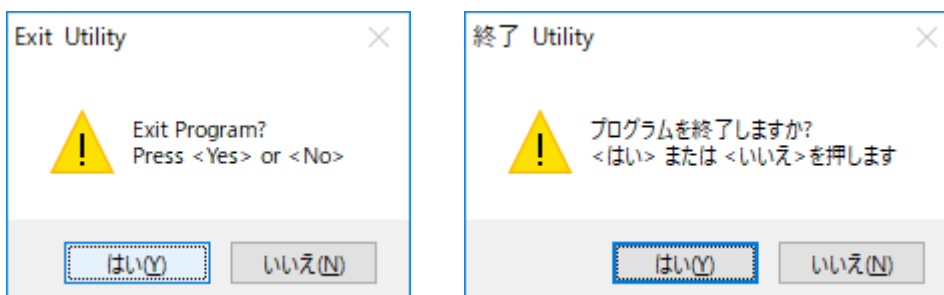


EzUtility の終了

1. Ez Utility を終了する

[System (システム)]→[Exit]を選択するか、ツールバーの  アイコンをクリックするか、画面右上の

 をクリックします。



続いて本当に終了するか確認されますので、終了する場合は[はい]をクリックし、キャンセルする場合は[いいえ]をクリックします。

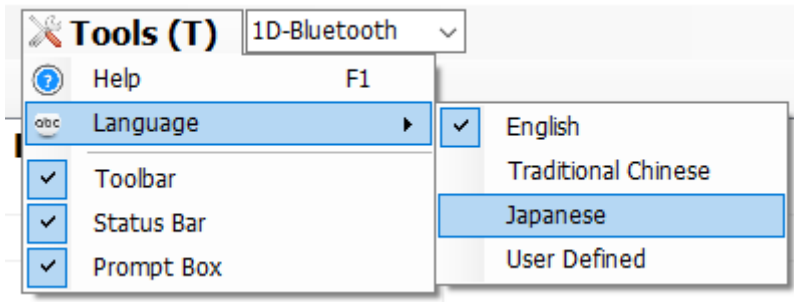
パラメータを変更していた場合、編集中のパラメータをファイルに保存するためのダイアログが表示されます。保存する場合は「保存」をクリックし、保存しない場合は「キャンセル」をクリックします。

EzUtility の日本語化

1. EzUtility の言語を変更する


EzUtility を実行してメイン画面が表示されたら、[Tools (ツール)] → [Language (言語)] → [Japanese] を選択します。この設定後、メニューとメッセージが日本語化され、EzUtility を再起動しても日本語化は継続されます。

本書は、原則日本語化された状態で操作説明が行われております。



EzUtility の基本的な使い方

1. EzUtility を実行する

デスクトップに作成される  ショートカットアイコンか、[スタートメニュー]の[Ez Utility]を右クリックして表示されるポップアップメニューから「管理者として実行」をクリックします。

2. スキャナをホスト PC に接続する

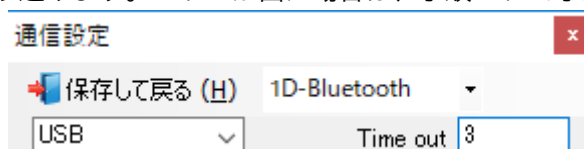
スキャナを付属の USB ケーブルでホスト PC の USB ポートと接続してください。次に「USB HID」バーコードを読み取ってください。




USB HID

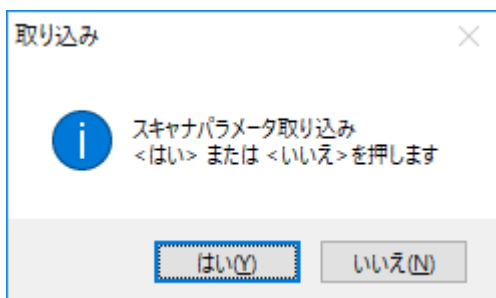
3. 通信設定を行う

下図のように変更して[保存して戻る]をクリックします。スキャナが正常に接続されていると自動的にスキャナの現在の設定を PC に取り込みます。エラーが出た場合は、手順 4 にて手動で取り込んでください。



4. スキャナの設定をホスト PC へ取り込む

[操作]→[取り込み]を選択するか、ツールバーの  をクリックします。



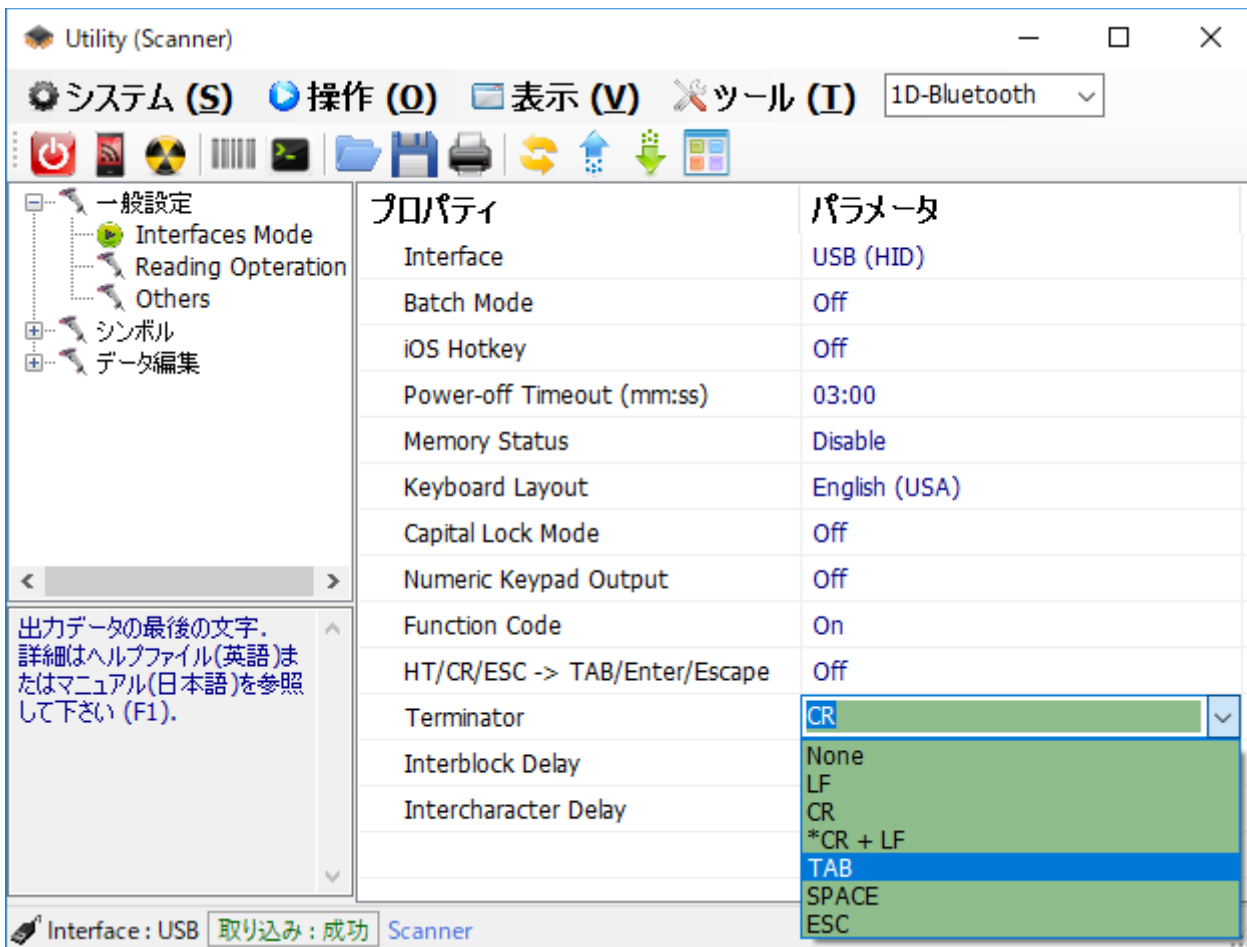
取り込みを実行する場合は「はい」を、キャンセルする場合は「いいえ」をクリックします。

取り込みに失敗する場合は、スキャナとホスト PC が正常に接続されているか、通信設定は適切か確認してください。

(次ページへ続く)

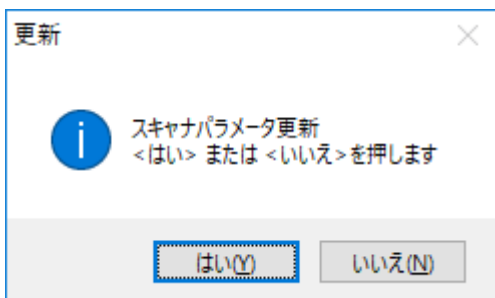
5. 設定を編集する

希望のプロパティの列をダブルクリックして表示されるポップアップメニューから、希望の設定値をクリックします。詳細はヘルプファイルをご確認ください。



6. スキャナの設定を更新する

[操作]→[更新]を選択するか、ツールバーの をクリックします。



更新を実行する場合は[はい]を、キャンセルする場合は[いいえ]をクリックします。

更新に失敗する場合は、スキャナとホスト PC が正常に接続されているか、通信設定は適切か確認してください。

(次ページへ続く)

7. Bluetooth 接続へ戻す

以下の希望するバーコードを読み取ります。USB 接続のまま使用される場合は、この設定は必要ありません。



設定例

- バーコード読み取り後の改行を TAB に変更する

[一般設定]→[Interface Mode]→[Terminator]→[TAB]

- バーコード読み取り後の改行を F2 に変更する

[一般設定]→[Interface Mode]→[Terminator]→[None]

[一般設定]→[Others]→[Postamble]→[F2]

- ビープ音を消音する

[一般設定]→[Others]→[Beep Mode]→[Mute]

- 0 から始まる JAN コードを 0 を含めた 13 桁で送信する

[シンボル]→[UPC-A]→[UPC-A expand to EAN-13]→[On]

- 1 桁の Code128 バーコードを読み取る

[シンボル]→[Code128 {EAN-128}]→[Code128 Length Min]→[1]

- 医療用医薬品等に貼ってある GS1 データバー限定型を読み取る

[シンボル]→[GS1-Databar]→[GS1-Databar_Limited]→[Enable]

- Code39 バーコードの先頭 3 文字目から 7 文字目だけを読み取る

[データ編集]→[Format Setting]→[Format On / Off]→[Format 1 On , 2 / 3 Off]

[データ編集]→[Format Setting]→[F-1 Min Length]→[1]

[データ編集]→[Format Setting]→[F-1 Max Length]→[99]

[データ編集]→[Block 1]→[F-1 Block 1 Data Length]→[2]

[データ編集]→[Block 2]→[F-1 Block 2 Data Length]→[5]

[データ編集]→[Code Type and Output]→[F-1 Code Type]→[Code 39]

[データ編集]→[Code Type and Output]→[F-1 Output Sequence 1]→[Block 2]